



**■大雨・洪水警戒レベルと行動**

■大雨警報や氾濫(注意、警戒、危険、発生)情報を聞いて取るべき行動

■非難は履き慣れた運動靴で！  
(長靴は水が入って重くなり危険)

| 警戒レベル                             | 避難情報        | 住民がとるべき行動                        |
|-----------------------------------|-------------|----------------------------------|
| 警戒レベル 5                           | 緊急安全確保      | 命の危険 直ちに安全確保！                    |
| ~~~~~<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！>~~~~~ |             |                                  |
| 警戒レベル 4                           | 避難指示        | 危険な場所から <b>全員</b> 避難             |
| 警戒レベル 3                           | 高齢者等避難      | 危険な場所から <b>高齢者等</b> 避難           |
| 警戒レベル 2                           | 大雨・洪水・高潮注意報 | 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認    |
| 警戒レベル 1                           | 早期注意情報      | 防災気象情報などの最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める |

「避難勧告」は廃止され「避難指示」に統一されました

**■土砂災害の気配を知る！**

**長雨、豪雨から>土石流**

<泥水と土砂が速く流れる>  
長雨や集中豪雨で岩や土砂が水と一緒にとなって一気に流れる



●ゴーツという山鳴りがする。  
●急に川が濁って流木などが流れに混ざり始める。  
●土臭いにおいがする。  
●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。(上流でせき止められて溜まっている。)

**■新型コロナ関連**

■避難所での感染症防止対策

- 避難する時は、マスクや体温計、除菌液を持っていく
- 避難所に入るとき、その後も定期的に体温を測る
- ・発熱やせき、強いだるさといった症状があったら運営者に知らせる
- 頻繁に手洗い、咳エチケット励行
- 「密集」「密接」「密室」回避
- ほかの人と2mほど距離を確保する
- 人と向い合せではなく背を向けて座るようにし、間仕切りを利用する
- 換気を充分行う
- ・1~2時間に1回、5~10分程度以上
- 個別スペースの確保
- 感染症状の出た人は個別スペースを確保し、他と動線やトイレを分ける
- ・同じ症状が有る人同士でも、別室やパーティションなどで区切る
- 分散避難
- 安全な場所に住んでいる親戚や知人などがいればそこに避難

**■新型コロナ関連**

■家族に感染(の疑い)が出た場合

- 過ごす部屋を分ける
  - ・出来るだけ一つの部屋から出ない
  - ・食事は別々の場所でする
  - ・寝るのも別々にするか、難しい場合はカーテンやついたて等で仕切る
- 看病する人を決める
  - ・マスクと手袋をつけて看病し、使った後は部屋から持ち出さない
  - ・看病の後には手洗いと除菌する
- こまめに換気をする
  - ・症状のある人の部屋だけでなく、共用部や他の部屋も定期的に換気
- 手で触れる共用部をこまめに消毒
  - ・ドアノブや手すりなどの共用部分は1日に1回以上除菌液で消毒する
- 洗い物は家族と一緒にでもOK
  - ・感染者の衣類などを洗濯する場合は、手袋とマスクを着用して一般的な家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾かす
- ゴミは完全に密閉して捨てる
- 同居家族も外出を避け、健康観察

**■災害に備えて…(1)**

★車のガソリンは極力満タン  
・半分になる前に必ず満タンに。  
災害経験者必奨の対策!!

★水・食料の備蓄(1週間分)  
・飲料水は1人1日2リットル  
・風呂の水は抜かない(トイレ用)

★家族の集合場所は普段から必ず確認しておく！

★非常持ち出し袋等は、  
持ち出し易い玄関などに！

★携帯の充電方法の確保  
・停電が続いた場合でも、携帯を充電する方法を準備しておく！

★薬やメガネは自宅以外にも  
・車の中や職場等に予備を！

**■災害に備えて…(2)**

★家具類は固定する  
・震度7では家具が飛んでくるので突っ張り棒等で固定！  
・避難路となる出入り口付近には家具や大型家電を置かない！

★窓のカーテンは閉めて寝る  
・ガラスの割れ→飛散を防止  
・本来は飛散防止フィルムが理想

★懐中電灯は何箇所かに置く  
・夜中に家のどこで被災しても懐中電灯に手が届くように！

★枕元にはスニーカー  
・足裏をガラス等で切ると避難生活や災害復旧が困難に！

★ハザードマップはダウンロードして携帯に入れておく！

**■災害情報検索キーワード**

- 愛媛の災害速報  
「えひめ force」
- 気象庁防災情報  
「気象庁 防災」
- 愛媛の河川・砂防情報  
「愛媛 河川 監視」
- 津波情報(NHK)  
「NHK 津波情報」
- 道路情報(四国地方整備局)  
「四国 道路情報」
- 防災情報・ハザードマップ  
「防災マップ ○○市」
- AED設置場所  
「日本全国AEDマップ」

**■悲しくても写真を撮っておく**

■片付けに入る前に、まず被災状況の写真を撮る。罹災証明、保険の査定、税金の控除等で必要

■外側、室内、あらゆる角度から

■浸水の場合は、床上何cmか？ものさしになるものを添えればベスト

■レシートは何でも取っておく

■応急処置に使ったもののレシート、業者に払った費用の領収書など

■後から公的支援が受けられる場合があり、その時に必要

■電気・水道・電話といった公共料金の領収書は居住の証明になる

■保険会社への連絡

■被災したことを連絡しておく

■保険会社が分からない場合は、日本損害保険協会「自然災害等損保契約照会センター」(フリーダイヤル0120-501331)に問い合わせ